

静岡県富士宮市で

豚熱(CSF)患畜を確認(国内105例目)!

<発生農場の概要>

- ・所在地:静岡県富士宮市 飼養状況:約1,174頭(一貫)
- ・静岡県は7月3日、富士宮市の農場において、異状が見られるとの通報があったため、当該農場に立ち入り、検査を実施
- ・県の検査により豚熱の疑いが生じたため、国の研究機関で精密検査を実施したところ、7月4日、豚熱の患畜であることが判明

102(3月11日)・104(5月5日)例目と同じ地域での発生!

農場の侵入防止対策の再確認をお願いします!!

<<生産者の皆様へ>>

- ▶物品の移動に係る防疫対策については、以下のことが大事です。
 - ・資材の受渡しを衛生管理区域外で行うなど、同区域への車両、人及び物の出入をできる限り制限すること。
 - ・他の農場で飼養管理の際に使用した器具、機材、資材、筆記用具等は、原則、衛生管理区域内に持ち込まないこと。やむを得ず持ち込む場合は、消毒すること。
- ▶適正なワクチン接種および飼養衛生管理基準の内容を点検し、不遵守の場合には大至急改善してください!

①早期発見・早期通報

②家畜飼養農場の防鳥ネット・防護柵等の再度の確認、
人・車両の出入りの際の飼養衛生管理の強化

③農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底等による
農場へのウイルス侵入防止の徹底

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

野生動物対策



農場を囲う柵を設置するとともに、破損などが無いのか定期的に点検。

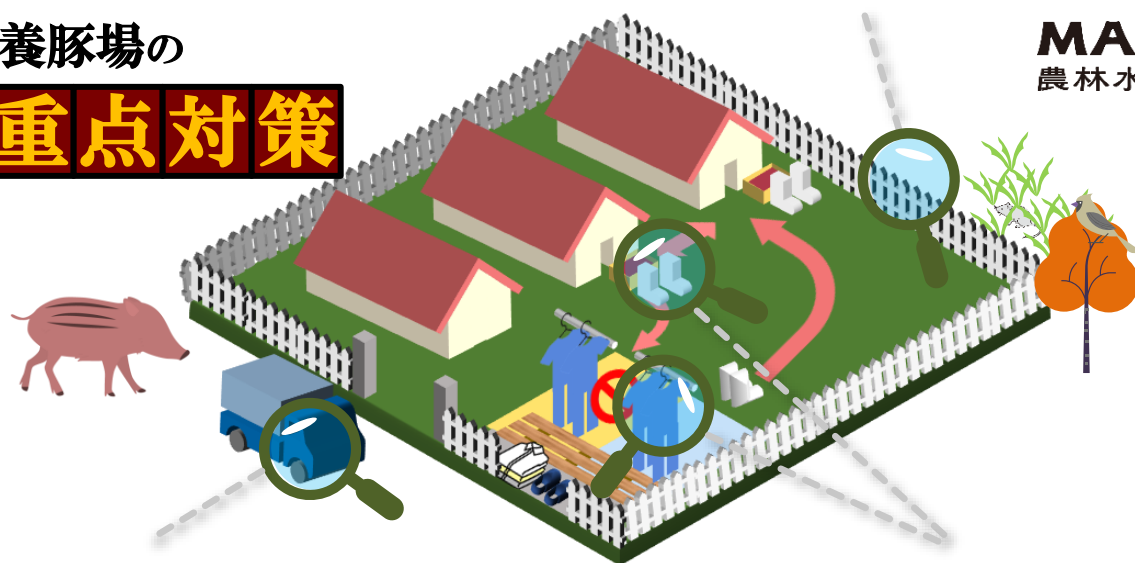
農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の

重点対策

MAFF
農林水産省



農場内や進入車両の消毒



畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。
車体、タイヤ周りや溝の汚れを
しっかり落とす。

更衣・履き替えの徹底



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。